

## 男女共学化に関するデータの収集・整理の方向性について（案）

第1回検証部会では、「平成22年度は、『普通教育・専門教育の体制整備』を中心に検証作業を進めるが、その他のテーマについても必要なデータの収集・整理をしておくこととする。」とされた。そのため、今回、検証テーマの一つである『男女共学化』に関するデータの収集・整理の方向性について検討するもの。

具体的な方向性としては、以下の3つが考えられる。

### 1 統計的データの収集・整理

以下の調査結果等を収集し、共学化校・従来からの共学校ごとに各種データの経年変化等を整理することを通して、客観的な視点からの課題や成果の同定にアプローチする。

- ① 学校基本調査
- ② 学力状況調査（生徒の学習に関する意識調査を含む。）
- ③ 学校評価（生徒による授業・学校運営等に関するアンケート調査を含む。）
- ④ 行政評価
- ⑤ その他、教育庁が業務上収集している統計的データ

### 2 現地調査（学校訪問）

実際に男女共学化した学校に赴き、現場の教員及び生徒へのインタビュー等を通して、1で整理したデータを補足する。

#### 【具体的イメージ】

- ① 調査対象校  
地域や生徒の適性・能力等のバランスに配慮するとともに、制度移行期における特有の問題等を浮き彫りにできるよう、ア) 共学化進行中の学校、イ) 共学化が完成した学校、ウ) 従来からの共学校を対象とする。
- ② 調査項目  
1で得られた結果を踏まえた上で決定する。

### 3 意識調査

男女共学化に伴う現場教員の意識変化や教育活動の変化などの把握に向け、意識調査を行う。

#### 【具体的イメージ】

- ① 調査対象校  
2①と同じ。
- ② 調査方法  
無記名アンケート方式（ただし、学校名のみ記載。）
- ③ 調査項目  
別に検討して決定する。